

THE SAUL BELLOW SOCIETY OF JAPAN  
NEWSLETTER

APRIL 2011

SBSJ

Vol.23

発行：会長 町田哲司 編集：代表理事 片渊悦久  
日本ソール・ベロー協会本部  
573-1001 枚方市中宮東之町 16-1 関西外国語大学 町田研究室内  
TEL 072-805-2801  
E-mail machida@kansai.ac.jp  
ホームページ URL <http://www.onyx.dti.ne.jp/~bellow/>

**【第23回日本ソール・ベロー協会大会のお知らせ】**

日時：10月7日(金)午後2:00～5:30 (1:30 受付開始)  
場所：高槻市立生涯学習センター3階・第2会議室  
〒569-0067 大阪府高槻市桃園町 2-1(高槻市総合センター内)  
TEL 072-674-7700(代)  
当日の連絡は、090-3618-0933 まで  
(JR 高槻駅、阪急高槻市駅より、いずれも徒歩5分程度)

《プログラム》

- ①2:00 開会の辞 町田哲司 (会長・関西外国語大学)
- ②2:05～2:30 総会 司会：片渊悦久 (代表理事・大阪大学)
- ③2:30～4:00 研究発表  
岩田順 「*Herzog* に描かれた西欧近・現代哲学思想」  
幸山智子 (九州大学・院生) 「間に合ううちに部屋を出ろ  
— 『宙ぶらりんの男』における自己の他者化」  
司会：町田哲司
- ④4:15～5:15 フォーラム・ディスカッション  
統一テーマ 「Saul Bellow の短篇を読む」  
発題者と発題対象作品  
佐川和茂 (青山学院大学) “The Old System”  
鈴木佳那 (日本女子大学・院生) “A Father-to-Be”  
町田哲司 “Sermon by Dr. Pep”

\*懇親会 (5:45～7:15) (会費：4000円)  
会場：龍門 (JR 高槻駅前・松坂屋高槻店 5F)  
\*理事会を、12:30 より開きます。

---

【2010年度会員ベロー関係活動報告】(2010年4月1日～2011年3月31日)

《著書》

○町田哲司(関西外国語大学) *Saul Bellow, A Transcendentalist: A Study of Bellowian Transcendentalism in Nine Major Works from the Viewpoint of Transpersonal Psychology*.  
大阪教育図書、2010年11月30日.

CONTENTS

Preface and Acknowledgements	i
Introduction	1
Chapter One <i>Dangling Man</i>	19
Chapter Two <i>The Victim</i>	31
Chapter Three <i>The Adventures of Augie March</i>	39
Chapter Four <i>Seize the Day</i>	50
Chapter Five <i>Henderson the Rain King</i>	65
Chapter Six <i>Herzog</i>	83
Chapter Seven <i>Mr. Sammler's Planet</i>	94
Chapter Eight <i>Humboldt's Gift</i>	100
Chapter Nine <i>The Dean's December</i>	111
Conclusion	118
Works Cited	133
Index	145

《論文》

○半田拓也(福岡大学)「ソール・ベロー序論—死生観と『おくりびと』を中心に (I)」『福岡大学人文論叢』42.1 (2010年6月): 57-82.

○半田拓也(福岡大学)「ソール・ベロー序論—死生観と『おくりびと』を中心に (II)」『福岡大学人文論叢』42.2 (2010年9月): 433-67.

○橋本賢二(大阪教育大学)「実学的文学研究と教育—フリーターとニートに贈るベロー文学からのメッセージ—」『楽しく教える—英語・文学・文化教育の工夫と実践—』橋本賢二、大阪教育図書、2010年10月8日: 114-30.

○佐川和茂(青山学院大学)「ソール・ベローの『ラヴェルスタイン』—死者よりの贈り物—」*Shlemiel* 10 (日本ユダヤ系作家研究会、2011年3月31日): 23-31.

○柿崎謙一(金沢医科大学)「『ラヴェルスタイン』に於ける悲喜劇的様式と語り的手法—」*Shlemiel* 10 (日本ユダヤ系作家研究会、2011年3月31日): 92-100.

○伊達雅彦（尚美学園大学）「自虐の笑いーソール・ベロー「ゴンザーガの遺稿」を中心に」*Shlemiel*10（日本ユダヤ系作家研究会、2011年3月31日）：102-13.

#### 《論文・補遺》

○柿崎謙一「『心の痛みで死ぬ人たち』に於ける性と死」*Shlemiel*9（日本ユダヤ系作家研究会、2010年3月31日）：23-31.

#### 《発表》

○鈴木元子（静岡文化芸術大学）「ソール・ベローの中の日本」（日本ユダヤ学会関西例会、神戸女学院大学、2010年11月27日）

#### 《エッセイ・補遺》

○佐川和茂「『心の痛みで死ぬ人たち』のユーモア」*Shlemiel*9（日本ユダヤ系作家研究会、2010年3月31日）：1-4.

#### 《書評》

○町田哲司「『ユダヤ人の社会と文化ーシュテトルより郊外へ』佐川和茂、大阪教育図書、2009年5月1日；『ホロコーストの影を生きてーユダヤ系文学の表象と継承』佐川和茂、三交社、2009年5月15日」『英文学研究』87（日本英文学会、2010年12月1日）：113-18.

#### 《書評・補遺》

○佐川和茂「『ソール・ベローの物語意識』片淵悦久、晃洋書房、2007年12月20日」『英文学研究』86（日本英文学会、2009年11月20日）：119-24.

---

#### 《非会員ベロー関係文献・補遺》

○Teranishi, Masayuki. "A Stylistic Analysis of Saul Bellow's *Herzog*: A Mode of 'Postmodern Polyphony'." *Language and Literature: Journal of Poetics and Linguistics Association* 16.1 (2007): 20-36.

○筒井正明「ライオンになりきれ ソール・ベロー『雨の王ヘンダーソン』『真なる自己を求めて 現代アメリカ文学を読む』筒井正明、南雲堂、2009年11月24日：288-321.

○筒井正明「“肥っちょおばさま”とは誰か？ サリンジャー『グラス家年代記』とオースター、ベロー」『真なる自己を求めて 現代アメリカ文学を読む』筒井正明、南雲堂、2009年11月24日：322-80.

---

《海外ベロー関係文献》

○Bellow, Saul. *Saul Bellow: Letters*. Ed. Benjamin Taylor. New York: Viking, 2010.

Contents

Introduction: “ <i>This Caring or Believing or Love Alone Matters</i> ”	vii
Chronology	xvii
PART ONE: 1932-1949	1
PART TWO: 1950-1959	95
PART THREE: 1960-1969	187
PART FOUR: 1970-1982	291
PART FIVE: 1983-1989	403
PART SIX: 1990-2005	463
Editor’s Note and Acknowledgements	553
Index	559

○*Saul Bellow Journal* 22.1-2 (Fall 2006/Winter 2007)

Contents

Andrew Gordon	
Saul Bellow’s Paris	5
Elizabeth Brocious and Daniel K. Muhlestein	
Childhood Sexual Abuse as a Determinate Source of Trauma in <i>Herzog</i>	19
Thomas Rhea	
Metaphysics of Fear in Saul Bellow’s <i>Henderson the Rain King</i>	39
Jay L. Halio	
<i>The Dean’s December</i> and Saul Bellow’s Novels of Contemplation	51
Christopher Loots	
Wrinkles in Time: Tracing Joseph’s Trauma in <i>Dangling Man</i>	66
Gloria L. Cronin and Robert Means	
Selected Annotated Critical Bibliography, 2003-2007	81

○Vaishnav, Harmik. *Alienation and Affliction in the Fictions of Saul Bellow and Jerome David Salinger*. Saarbrücken, Germany: VDM Verlag Dr. Müller, 2011.

Content

Chapter I: Introduction	3
Chapter-II: An Analysis of the Approaches of Saul Bellow and Jerome Salinger to the Problems of Alienation and Affliction	23
Chapter-III: The Theme of Alienation in the Works of Saul Bellow	45
Chapter-IV: The Theme of Alienation in the Works of Jerome Salinger	68

Chapter-V: The Problem of Affliction in the Fiction of Saul Bellow	85
Chapter-VI: The Problem of Affliction in the Fiction of Jerome Salinger	111
Chapter-VII: Saul Bellow's and Jerome Salinger's Solution to the Problems of Alienation and Affliction	126
Chapter-VIII: Conclusion	158

---

### 【協会活動報告】

- 2010年4月1日：『ニューズレター』第22号発行  
 9月1日：「大会案内」「理事会案内」発送  
 10月14日：理事会（於青山学院大学青山キャンパス）  
 10月14日：第22回日本ソール・ベロー協会大会（於青山学院大学青山キャンパス）
- ①開会の辞 町田哲司（会長・関西外国語大学）
  - ②総会 司会：片淵悦久（代表理事・大阪大学）
  - ③研究発表
    1. 小林美智代（大阪音楽大学・非）「*Ravelstein*にみられるマニエリスム」
    2. 柿崎謙一（金沢医科大学）「『ラヴェルスタイン』に於ける悲喜劇様式と語り的手法」
 司会：町田哲司
  - ④フォーラム・ディスカッション  
 「*Ravelstein*を読む」  
 発題者と発題テーマ  
 半田拓也（福岡大学）「『ラヴェルスタイン』のメッセージ」  
 町田哲司「チックとベローの距離—超越思想を中心に」  
 懇親会：青学会館
- 2011年1月25日：「2011年度研究発表、およびフォーラム・ディスカッション発題の申し込み募集」発送
- 

### 【東京支部活動報告】

- 2010年8月1日（於専修大学・生田キャンパス）  
 発表「シンシア・オジック『人食い惑星』を読む」  
 発表「*The Painted Bird*におけるホロコースト」
- 2010年12月26日（於専修大学・生田キャンパス）  
 発表「スーザン・フロンバーグ・シェーファーの『アンヤ』と『水牛の午後』——ホロコーストよりヴェトナムへ」
- 以上2回の参加者：大場昌子（日本女子大学）、坂野明子（専修大学）、佐川和茂（青

山学院大学)、伊達雅彦(尚美学園大学)、山崎文男(東京農業大学・12月26日)

**【2011年度会計報告】**(2010年4月1日～2011年3月31日)

収入の部	円	支出の部	円
前年度繰越金	15666	通信関係費	8810
会費	188520	大会・懇親会・理事会関係費	78000
懇親会費	70000	ISBS 関係費	74448
		ホームページ関係費	24289
		アルバイト代	7000
		次年度繰越金	81639
合計	274186	合計	274186

2011年4月1日

会長 町田哲司 印

以上の報告に相違ありません。

会計監査 横山哲彌 印

**【お問合わせ先のご案内、および名簿記載事項の追加・削除等について】**

現在のところ、ベロー協会では、事務局機能を本部の方に移し、一元管理ができるようにしております。

「お問い合わせ」および「名簿記載事項」の変更(特定項目の削除依頼含む)につきましては、[machida@kansai.ac.jp](mailto:machida@kansai.ac.jp) までメールで、もしくは 573-1001 枚方市中宮東之町 16-1 関西外国語大学・町田研究室まで文書で、お願いいたします。

「名簿記載事項」の変更につきましては、「会費振込用紙」の「通信欄」をご利用いただいても構いません。通常、振込用紙では、お名前と入金額、入金日のみ確認いたしておりますので、何らかの変更のある方は、かならずその旨、通信欄にご記入くださいますようお願い申し上げます。

「ニューズレター」、「名簿」、「振込用紙」以外の発送物につきましては、経費削減のため、できるだけメールにて送らせていただいております。迅速な意見の交換にも役立ちますので、ぜひアドレスをお教えてください。名簿には、許可をいただいた方のみ掲載いたしております。

---

《役員》(2011年4月1日～2013年3月31日)

理事：伊達雅彦（北海道、東北地区）

坂野 明子（関東地区）

大場 昌子（関東地区）

佐川 和茂（関東地区）

大工原 ちなみ（中部地区）

片渕 悦久（関西地区）

町田 哲司（関西地区）

渡辺 克昭（関西地区）

橋本 賢二（関西地区）

池田 肇子（中・四国、九州地区）

会長：町田 哲司

代表理事：片渕悦久

名誉顧問：モリス・オーガスティン（AUGUSTINE, Morris J.）

顧問：半田 拓也

会計監査：横山哲彌

本部：関西外国語大学町田研究室内

---

【原稿募集】

本部では、ニューズレターに掲載する原稿を募集しております。ベロー研究に関係のあることでしたら何でも結構ですので、本部までお送りください。できれば、添付ファイルにてお願いいたします。

---

【会費納入のお願い】

2011 年度会費納入用の郵便振替用紙（日本ソール・ベロー協会：00940-5-109785）を同封いたしております。一般会員は **2000** 円、学生会員は **1500** 円となります。年会費未納者は、次年度より会員資格を失いますので、ご注意ください。

日本ソール・ベロー協会とは別に、アメリカに本部を置くベロー研究組織として International Saul Bellow Society (ISBS) があります。ISBS に所属される方は、年会費 \$45 を、Liela H. Goldman, Editor, Saul Bellow Journal, 4955 Peggy Street, West Bloomfield, Michigan, 48322, U.S.A. までお送り下さい。日本ソール・ベロー協会にお送りいただくこともできます（会計年度末に、その年お支払いいただいた方の分をまとめて ISBS に送っております）。その場合は、日本ソール・ベロー協会 2000 円 + ISBS 6000 円で **8000** 円、学生会員は、日本ソール・ベロー協会 1500 円 + ISBS 6000 円で **7500** 円となります（ISBS に宛先を連絡する必要がありますので、振替用紙の通信欄に、氏名、住所、所属を英語でお書き添えください。

ただし、昨年度 ISBS に所属し、今年度変更事項のない方は、お書き添えいただく必要はありません。ISBS に所属しますと、同学会の機関誌 *Saul Bellow Journal (SBJ)* を受け取ることができます。年に 2 回発行されることになっておりますが、近年は発行が遅れ、未発行の年が多くなっています。ISBS の会費をお支払いいただいても、*SBJ* を受け取れない場合がありますので、ご了承のうえ、ご加入ください。

---

### 【日本ソール・ベロー協会会則】(2008 年 9 月 10 日改正)

第 1 条 (名称) 本会は日本ソール・ベロー協会と称する。

第 2 条 (目的) 本会はソール・ベロー及び関連諸分野の研究と、会員相互の交流をはかることを目的とする。

第 3 条 (事業) 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 総会の開催 2. 調査・研究のための諸活動 3. 調査・研究成果の刊行 4. 会報 (ニューズ・レター) の発行 5. 研究発表会・講演会等の開催 6. その他、本会の目的達成に必要と認められる事業

第 4 条 (会員) 会員はソール・ベローの研究に関心を持ち、所定の年会費を納めたものとする。

第 5 条 (会費) 本会の年会費は 2000 円、ただし学生会員の場合は 1500 円とする。アメリカの International Saul Bellow Society (ISBS) にも所属する場合は 8000 円、学生会員の場合は 7500 円とする。年会費未納者は、次年度より会員資格を失う。

第 6 条 (役員等) 本会に次の役員等を置き、会員の中から選出する。

1. 会長、代表理事各 1 名。理事会が理事の中より候補者を推薦し、総会で承認を得る。  
2. 理事。各地区毎に若干名。構成員数に応じて増減。総会で選出する。  
3. 会計監査 1 名。総会で選出する。  
4. その他、本会に必要と思われる諸役については、適宜会員の中から総会の決議に基づいて会長がこれを委嘱する。

第 7 条 (役員任期) 役員任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第 8 条 (事務局) 事務局機能は本部が担当する。

第 9 条 (経費) 本会の運営は会員の会費、寄付金、その他の収入をもって当てる。

第 10 条 (事業年度) 本会の事業年度及び会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終了する。

第 11 条 (会則の変更等) 本会の会則の変更、会費その他の重要な事項の決定は総会の議決による。ただし、International Saul Bellow Society (ISBS) の会費が値上げされた場合は、総会の承認を得ずに ISBS 分の会費を値上げし、その旨を事後報告とすることができる。

申し合わせ事項

(1) 総会及び研究発表会は年一回開催する。

(2) 本会の本部は、関西外国語大学 町田哲司研究室内に置く。